



きょう がつ にち じゅうごや ひ
今日は10月6日 十五夜の日です。

しょうかい
十五夜について紹介します！！



じゅうごや あき つき み へ ひ むかし つきみ ひ
十五夜は、秋に月がいちばんきれいに見える日のことです。この日は昔から「お月見」をする日として大切にされてきました。じゅうごや こめ やさい つき かんしゃ かぞく
十五夜には、お米や野菜がたくさんとれることを月に感謝して、家族のし
あわせをねがいます。まんまるのおつきさまににせて、しろ おだんごをおそなえしたり、すすきをかざったりします。また、日本では「月にはウサギがいて、おもちをついている」というお話もあります。

☺ お月見にかざるもの



今年は10月6日



つきみ しろ
お月見だんご：白くてまんまるのおだんごを、さら お皿や三方（さんぼう）という台に山のようにつまみます。

かぜ なが くさ あき いね ほうさく こめ
すすき：風にゆれる長い草。秋の稲のかわりにかざって、豊作（お米がたくさんとれること）をいのります。

あき
秋のくだもの・やさい：さつまいも、なし、ぶどうなど、その年にとれたものをお月さまにおそなえします。

